

IV 住民懇談会の結果

第1章 住民懇談会の結果

1 意見のまとめ

住んでいて困ったこと、それに対して自分たちにできること、自分たちができることを実現するために専門家や行政に望む支援についてまとめた。

(1) 地域のつながりが希薄化している（第5地域、第7地域共通課題）

【困っていること】

- ・マンション内の付き合いがない、マンションと戸建ての付き合いがないなど、近所づきあいが少なく、住民同士の顔が見えない。
- ・地域に人が集える場所がない。
- ・自治会活動について、自治会に入らない人、やめていく人が増えているなど自治会が活性化していない。集合住宅の住民は自治会に入らない（入れない）。また自治会同士の交流がない。
- ・自治会長のなり手がいない、地域にリーダー役が少ないなど、地域活動をする人が限られていることも高齢化の問題と一緒に課題である。

【身近な地域で自分たちができること】

- ・近所づきあいについては、挨拶をする、イベントや行事の企画や参加、イベントの情報収集をする。
- ・外に出る機会をもち、地域で活動する人と知り合いになる。
- ・安全安心のまちづくりや防災、公園の掃除など、テーマをつくり具体的な活動を始める。
- ・自治会活動については、転居者に加入の声掛けをするなど、自治会に加入する世帯を増やす。そのために自治会のPRをしたり、災害対策の話し合いやまちづくりを考える会を開催するなど地域の課題や情報を共有化する。
- ・居場所の確保については、空き家を活用するなどして地域内でコミュニティカフェなど集える場をつくる。

【自分たちができることを実現するために専門家や行政に望む支援】

- ・市内に一斉にあいさつ月間を設けるなど、地域交流啓発事業の実施をする。
- ・地域をつなげるコーディネートとして、自治会と民生委員など専門家をつなげることに加え、人と人をつなげることや、団体のネットワークづくりをする。人々の交流として、学校が自治会や高齢者と交流する。
- ・いろいろなテーマで住民懇談会を頻繁に開催する。
- ・自治会の活性化について、振興住宅地を含め自治会立ち上げの支援や、自治会等の活動の情報提供、行事や自治会への資金を援助する。
- ・居場所の確保について、空き家の利用をする。そのために空き家を貸す仕組みや利用のノウハウの提供などを支援する。ひだまりサロン立ち上げの協力や自宅開放者を募る。若い人の交流の場を用意する。すでにある公共施設、学校、福祉施設の場を提供する。

- ・担い手の育成について、親父の会や定年退職手前の人たちを対象とした地域活動を支援する。

(2) 高齢者が増加している（第5地域、第7地域共通課題）

【困っていること】

- ・高齢者が増えた、ひとり暮らしの高齢者が増えた。
- ・孤立死があった。支援を必要とする人の情報が分からない。
- ・かかりつけ医が不足している（第5地域）

【身近な地域で自分たちができること】

- ・新聞がたまっているなどの異変に気を付けるなど、日ごろの生活での見守りを強化する。
- ・高齢者に出会ったら声をかける、立ち話で困ったことを聞いてみるなど、孤立させない。
- ・ひとり暮らし高齢者について情報を得る。
- ・高齢者と児童の交流など世代間の交流をする。中学生や高校生にボランティア活動を勧める。
- ・高齢者が外に出やすいように、公共施設の所在地を明記する。
- ・かかりつけ医の不足については、往診をしてもらう、医師会に協力してもらう。

【自分たちができることを実現するために専門家や行政に望む支援】

- ・見守り支援の強化や「みまもっと」（調布市見守りネットワーク）を市民に周知する。
- ・災害に備えて個人情報の公開を了解してもらう。
- ・高齢者が外出できるように、市バスを地域内に運行する、福祉ボランティアなどのときに車などの移動手段を支援する。
- ・かかりつけ医の不足について、病院や医師の情報提供、通院困難者への医療提供や地域包括支援センターと医師会の連携。また健康や介護予防への支援など。

(3) 交通が不便、道路が狭い、危険（第5地域）

【困っていること】

- ・バス便が少ない。
- ・道路が狭い、暗い、危険、交通マナーが悪いなど、高齢者や障害者などにとって危険。

【身近な地域で自分たちができること】

- ・ミニバスの充実を要望していく。
- ・車椅子などが通行できない道があることから、自分たちで通行に邪魔なものをなくしていく。
- ・車椅子の押し方や交通ルールを学ぶなど、学んで知る機会をつくる。

【自分たちができることを実現するために専門家や行政に望む支援】

- ・住民の声を反映したミニバスを運行する。買い物の不便を解消するように移動商店の設置などを支援する。
- ・カーブミラーの増設や道にはみ出している木を剪定する。
- ・道路の構造など、当事者の立場になった設計をする。

- ・生活安全コーディネーターの設置など、まちづくり条例に市民の意見を反映する。

(4) 障害者への理解が不足している（第5地域）

【困っていること】

- ・地域の中で障害者への理解が不足している。

【身近な地域で自分たちができること】

- ・障害者と交流する，ボランティアをするなど，障害者を知る。
- ・困っている状況について自治会や社協で調べる。
- ・障害者週間に啓発イベントや福祉展などを開く，参加する。

【自分たちができることを実現するために専門家や行政に望む支援】

- ・障害者との交流を支援する。障害者理解の学習の場をつくる。
- ・行政がボランティアを勧めて，コーディネートする。

(5) 防災・災害時への不安（第7地域）

【困っていること】

- ・多摩川洪水時の避難場所が分からない。
- ・防災について自治会や地域の動きが分からない。

【身近な地域で自分たちができること】

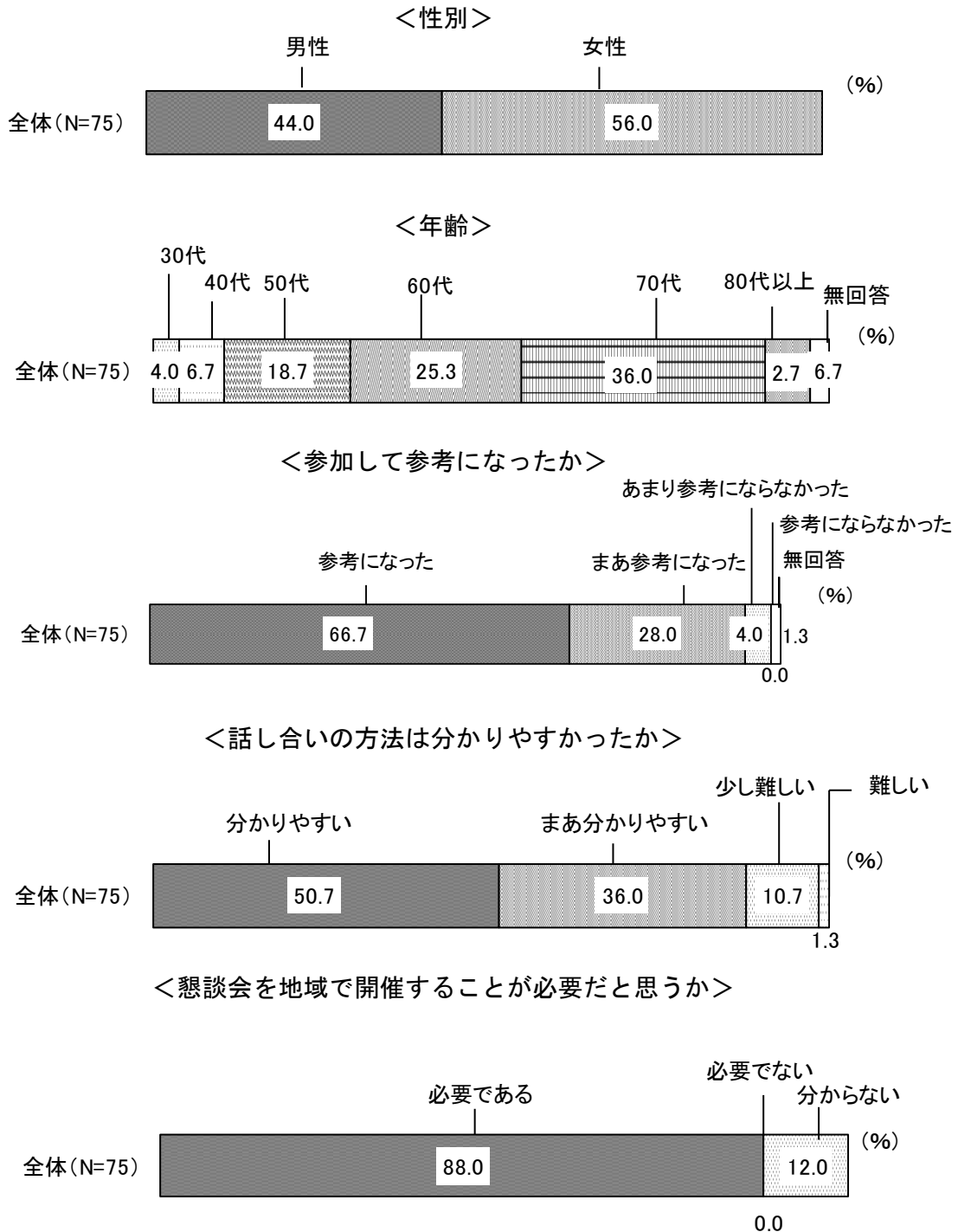
- ・身近なところで防災訓練を年に1回程度行い，絶えず防災意識を喚起する。
- ・防災マップを各自治会に貼る。
- ・水害避難訓練をする。
- ・避難場所を近所で共有する。高齢者や障害者の居住を知り，声掛けをする。

【自分たちができることを実現するために専門家や行政に望む支援】

- ・防災訓練を充実する，メニューを強化する。市内企業に災害時に地域貢献の仕組みを作ってもらおう。
- ・自治会レベルで水害避難訓練が実施できるよう支援する。
- ・避難所運営マニュアルにいろいろな立場の人たちの意見を入れる。地域の要援護者の把握をする。

2 参加者アンケートの結果

住民懇談会の参加者にアンケート調査を実施した。回収数は全体で75件であった。アンケート調査結果によると、参加者の性別は女性が5割強、年齢は「70代(36.0%)」が最も多くなっている。懇談会については、ほとんどの人が参加して参考になったと感じている。話し合いの方法については、9割弱が「わかりやすい」としており、1割強が「難しい」としている。また、地域での懇談会の必要性については、9割弱が必要であると答えている。



自由回答も多数いただいた。主なものを抜粋する。

◆懇談会の進め方について

- ・テーマを絞ってグループで話し合う時間が必要だと思う。色々なグループ・団体等に参加できるような形を考えてほしい。発表者の発表がグループの発表ではなく、個人の考えになっていることもあった。(第7地域, 女性, 50代)
- ・楽しかった。子(乳幼児)育て中乳幼児の人が参加していなかった。開催時間帯など設定が色々あるとよいのでは。(第7地域, 女性, 50代)
- ・情報交換する時間を作った方がよいかもしいれない。最後に伝えたい人もいたので。(第5地域, 男性, 30代)

◆意見の活用について

- ・自分たちが考えていかなければならないことばかりだと思います。(第5地域, 女性, 60代)
- ・どんな成果があったのか, どんな結果報告ができたのか, 市報や広報で知らせてほしい(やり放しでなく)(第7地域, 男性, 70代)
- ・せっかく今日たくさんのご意見が出ましたが, 本当に何かに役立ててもらえるのでしょうか。無駄にしないで下さい。具体的に何ができたのかを必ず戻してください。そうでないと参加する意欲が消えてしまいます。(第7地域, 女性, 40代)

◆今後の住民懇談会について

- ・年に何回か行い, 実践へつなげるようにしていったらいいと思います。参加者が地域を支える力になるような会にしていただきたい。(第5地域, 女性, 50代)
- ・もっと多くの人に集ってもらえるとよい。(第5地域, 男性, 70代)
- ・多数の方の参加に驚きもあり, 次回は世代を超えた老若男女を越えた集会ができるとういと思いました。福祉の後継者を育成するためも大切と考えます。(第7地域, 男性, 70代)
- ・問題を見直す機会になったと思います。もう少し話題を絞って地域での対策などを聞きたい。情報交換の時間がほしい。せっかく色々な地域の方々が集まっています。(第7地域, 女性, 60代)
- ・今回初参加だったが, 面白いやりかただったと思う。各地域でこまめに開催するとよいと思う。できたら今回の参加者は次回は休み, 多くの人に参加してもらおうのがよいと思う。(第7地域, 男性, 70代)
- ・非常に勉強になりましたが, 若い人たちの参加があるとさらによかったと思います。(例えば, 消防分団やボランティア団体, スポーツ指導者等)(第7地域, 男性, 70代)
- ・自分が感じ考えている事が自分の事だけでない, それを確認し, 解決の方法を探る場は貴重だと思います。これが普通な事になると尚よいですね。子育て世代の参加には会の<2部制>1回目午前, 2回目夜が手っ取り早い方法かと。(第7地域, 男性, 50代)
- ・地域ごとの交流・話し合いの場ができてよい。1回限りの「打ち上げ花火」にしな

いで、継続して開催してほしい。地域に多数の同意見者がいる事が分かった。夜の時間帯は仕事人や、特に男性は出席しやすい。シルバーエイジの参加が多かったが、若い人の参加も希望する。(第7地域, 男性, 60代)

- ・ 託児付きであれば住民懇談会に若い世代も来るかもしれない。高齢者は夜道が心配もあるので、土・日の昼の開催もありだと思います。(第7地域, 女性, 40代)
- ・ テーマを絞って、その話題に応じた人が集まれる会を何回もできるといいなあ。そこから、地域のグループ化、サロン化に繋がるとよいと思います。(第7地域, 男性, 50代)
- ・ 地域でのなかまづくりに大いに役立つ行事であると思われる。さらに多くの住民が集まるよう工夫する。主催者の顔が見えるように回覧だけでなく主催者自らが動く参加者もさらに増える。(第5地域, 男性, 70代)

◆参加してよかった

- ・ 地域の方と交流できるよいきっかけの場になったかと思います。(第5地域, 女性, 40代)
- ・ 皆さんと一緒に作業させていただき、身近なお話がお聞きできました。ありがとうございました。(第7地域, 女性, 50代)
- ・ 大勢の参加者に驚いた。住民同士の結びつきの大切さを認識しているからこと参加したのだろうと思った。(第7地域, 男性, 70代)
- ・ 色んな方々の話が聞けてよかったです。(第7地域, 女性, 60代)
- ・ 短期間であったが、充実した時を過ごせ、楽しかった。(第7地域, 男性, 70代)
- ・ 悩みの行きつくところは、同じような事だと改めて感じました。(第7地域, 女性, 年齢無回答)
- ・ テーマを持って話すことで、皆さんが暮らしの中で色々な思いをお持ちなことが分かりました。そして、それがみんなあまり変わらないことも。一人ひとりでは解決できないことも、力を合わせれば何とかなるのではと思うきっかけになりました。楽しかったです!! (第7地域, 女性, 50代)
- ・ このような話し合いはとてもよいことだと思いました。色々なことが分かって、とても良かったです。ありがとうございました。(第7地域, 女性, 60代)
- ・ 楽しく地元の今まで知り合うことができなかった方たちとお話をしてよかった。今度道で会った時にあいさつができる人が増えました。(第7地域, 女性, 50代)
- ・ 地域の方々と顔と顔を合わせ、お互いの意見を伺うことは有意義であった。(第7地域, 女性, 60代)
- ・ 楽しくて分かりやすい課題の出しあい方だった。こういう方法があると感激。他の住民の方との交流にもなり、よかった。(第7地域, 女性, 40代)
- ・ 懇談会の内容は短時間でまとめる事は難しい内容ではありましたが、ヒントは色々有った気がします。(第7地域, 女性, 60代)
- ・ 色々自治会活動の参考になったのですが、忙しくなることに抵抗はありますね。役員の若返りが必要です。(第5地域, 男性, 80代)